

日本救急医学会関東地方会 平成 26 年度 第 1 回幹事会議事録

日 時 : 平成 26 年 2 月 1 日 (土) 12:00~13:00

場 所 : パシフィコ横浜会議センター 5 階 501 号室

議事録署名人指名

議事録署名を庄古知久幹事と中尾博之幹事が行うこととされた。

新幹事推薦 (森村常任幹事長)

幹事 16 名の推薦が行われた。新幹事 16 名全員が承認され、新幹事より就任の挨拶があった。

《報告事項》

1. 庶務報告 (森村常任幹事長)

2013 年度は 198 名の新入会, 124 名の退会者がおり, 総会員数は 1,170 名であったことが報告された。また, 2 名の会員の逝去が報告され, 黙祷がささげられた。

2. 看護部会 (三宅常任幹事)

本学会で看護部会の演題が行われ, 活発な議論が行われていることが報告された。また, 看護部施設代表者会の紹介が行われた。

3. 救急隊員部会 (松田常任幹事)

来年の第 52 回救急隊員学術研究会は伊勢原消防本部が事務局を担当し, 湘南メディカルコントロール協議会が協力することが報告された。

4. SOS-KANTO 委員会 (矢口常任幹事)

2013 年度は SOS-KANTO 委員会全体会議が 3 回, 開催されたとの報告があった。参加施設数は 67 施設であり, 最終的に 17,096 例の症例が集積され, 現在データクレンジング中であることが報告された。

また, 常任幹事会で SOS-KANTO 症例 1 年転帰データについては, 2015 年 4 月から会員全員が利用できることが報告された。

6. 編集委員会 (森村常任幹事長)

『日本救急医学会関東地方会雑誌』第 34 巻 2 号には 92 本の投稿があり, 90 本の投稿論文が掲載され, 投稿率は 31.7%, 論文受理率は 97.8%であり, 1 論文が査読の結果投稿辞退, 1 論文が査読継続となったことが報告された。

前年の『日本救急医学会関東地方会雑誌』抄録号では奥付が入っておらず、ホームページからダウンロードすることとなったことが報告された。

また、次号より発表論文から原著論文・症例報告とすること、田中常任幹事が編集委員長になることが報告された。

7. ホームページについて（田中常任幹事）

本会ホームページが、SOS-KANTO 関連ページを中心に更新が行われていることが確認された。

8. 第 64 回（平成 26 年）日本救急医学会関東地方会について（兼坂会長）

第 64 回日本救急医学会関東地方会が「繋げ救急の志」というテーマで開催されており、医師部会、看護部会、救急隊員部会の同日開催であること、また特別企画として「救急医療写真展」を行っていることが報告された。

9. 第 65 回（平成 27 年）日本救急医学会関東地方会（猪口次期会長）

第 65 回日本救急医学会関東地方会は、「みんなで支える救急医療～地域医療再編への Key～」のテーマで、2015 年 2 月 7 日（土）にパシフィコ横浜会議センターにて、第 52 回救急隊員学術研究会と同日同会場で開催予定であることが報告された。

10. アジア救急医学会開催の報告（横田日本救急医学会代表理事代行）

第 7 回アジア救急医学会が 10 月 23 日～25 日に開催され、演題数が例年の倍以上あり盛況であったこと、また日本救急医学会英文誌および専門医制度変更について紹介された。

《審議事項》

1. 2013 年度決算について（森村常任幹事長）

山口監事より、監査の結果会計手続きに不正がないことを確認したことが報告された。次に森村常任幹事長より 2013 年度の決算報告および会費収入の詳細について報告され、2013 年度決算が承認された。

2. 2014 年度予算案について（森村常任幹事長）

新規常設委員会設置を踏まえた委員会費用の増額ならびに SOS-KANTO 委員会費用の減額が報告された。また広告料収入については常任幹事が広告募集の協力を行い、増収を見込むこととされた。審議の結果、2014 年度予算が承認された。

3. 名誉会員推戴について（森村常任幹事長）

長尾建先生，益子邦洋先生を名誉会員として推戴することが承認された。

4. 次々期会長について（森村常任幹事長）

2016年開催の日本救急医学会関東地方会の会長として日本医科大学の横田裕行先生が就任することが承認された。横田次々期会長より挨拶があった。

5. SOS-KANTO 委員会次期委員長について（矢口常任幹事）

SOS-KANTO 委員会次期委員長として日本大学医学部附属板橋病院の櫻井淳先生が就任することが承認された。櫻井淳先生より挨拶があった。

6. 新規常設委員会設置について（森村常任幹事長）

多施設研究企画委員会，「関東地方災害医療コーディネーター連絡会議」，「関東メディカルコントロール（MC）協議会連絡会議」の設置が提案され，承認された。

特に「関東メディカルコントロール（MC）協議会連絡会議」については各地域のMC協議会や医師会などへの連絡が必要であり，次回学会のシンポジウムなどで組織を作っていくことが提案された。また，3年を目処に見直しを行うこととされた。

7. 日本救急医学会からの連絡事項（森村常任幹事長）

日本救急医学会が社員（評議員）選出について，地域格差是正のため日本救急医学会各地方会から推薦を行う制度を検討していることが報告された。日本救急医学会に日本救急医学会社員（評議員）が日本救急医学会会員数の2%を下回っている県を確認した上で，該当地域の関東地方会幹事に本会会員を推薦して頂き，常任幹事会で決定する手順で推薦する手順が報告され，承認された。

議事録作成：事務局 伊藤

議長： _____ 印

議事録署名人： _____ 印

_____ 印